

デンソーカップ堺大会記念シンポジウムwithサロン2002

育成期のサッカーを語ろう！

ー キッズからU-22までの指導と環境を考える ー

このたび、株式会社デンソー様の特別協賛のもと、全日本大学サッカー連盟とスポーツ文化研究会「サロン 2002」、ならびにデンソーカップ実行委員会の共催で、「育成期のサッカーを語ろう！」と題するシンポジウムを企画しました。

育成期をキッズから U-22 年代までと捉え、競技力向上へ向けて各年代において何を為すべきかを議論するとともに、サッカー・スポーツの地位を高め、次のスポーツ環境の担い手となる人材をどのように育てていくかを幅広く議論して参りたいと考えております。

このシンポジウムで、多くの方と、日本のサッカー・スポーツの未来をともに語り合えることを楽しみにしています。

記

特別協賛：デンソー株式会社

主催：（財）日本サッカー協会、全日本大学サッカー連盟、スポーツ文化研究会「サロン2002」、
デンソーカップ実行委員会

後援：関西サッカー協会、社団法人大阪府サッカー協会、関西クラブユースサッカー連盟、大阪府クラブ
ユースサッカー連盟、日本フットボール学会、筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ

日時：2011（平成23）年3月5日（土）16:00～19:00（受付15:30～）

会場：堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター・クラブハウス内大会議室
大阪府堺市堺区築港八幡町 145 番地

概要：16:00～17:00 講演

上田 亮三郎（全日本大学サッカー連盟顧問）

17:00～19:00 シンポジウム

演者

松田 保（びわこ成蹊スポーツ大学）

黒田 和生（ヴィッセル神戸育成部長）

JFA から1名

コーディネーター：中塚 義実（サロン2002 理事長／筑波大学蹴球部同窓会茗友 SC 理事長）

※シンポジウム終了後、同会場にて懇親会予定

参加申込：サロン 2002HP トップページ(<http://salon2002.net/>)の、「インフォメーション」
「参加申込はこちら」(<http://salon2002.net/application/>)からお申込み下さい。

参加費：無料

事務局：高田敏志（サロン 2002 理事）

※お問い合わせは salon2002@j-sps.com までお願いします。

＜スポーツ文化研究会「サロン 2002」とは何か＞

「サロン2002」は、以下の設立宣言に賛同する「同志」によるゆるやかなネットワーク組織です。

サロン2002設立宣言

(2000年4月1日)

我々は、以下に「サロン2002の“歴史”」、「サロン2002の“志”」及び「サロン2002の“会員”」を述べるにより、ここにあらためてサロン2002の設立を宣言する。

【サロン2002の“歴史”】

サロン2002は、社会学、心理学等の専門的立場からサッカーの分析・研究・報告に従事していた「社・心グループ」（財団法人日本サッカー協会科学研究委員会の研究グループの一つで、1980年代後半からこの名称で活動）を前身とし、1997年からは研究者という枠にとらわれない、幅広い人材によって構成されるゆるやかな情報交流グループ「サロン2002」として活動を行ってきた。

【サロン2002の“志”】

サロン2002は、サッカー・スポーツを通して21世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指すことを“志”とする。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを超えた幅広いネットワークを築き上げ、全国各地にサロン2002の“志”の輪を広げ、大きなムーブメントとなることを目指す。

サロン2002の“志”を実現する上で、2002年FIFAワールドカップ韓国／日本大会は大きな節目であると認識する。国内外の様々な人々と協力しながら、この世界的なイベントの“成功”に貢献するとともに、同大会後の“ゆたかなくらしづくり”のためにできることを考え、行動する。

【サロン2002の“会員”】

サロン2002は、前項の“志”を同じくする人たちのゆるやかなネットワークである。

サロン2002の“志”に賛同した個人であれば、誰でも、“会員”となることができる。ただし会員は、サロン2002からの“Take”を求めるだけでなく、サロン2002に対して、また社会に対して何が“Give”できるかを常に考え、“Give and Take”の姿勢でいるということが前提である。

サロン2002は、会員に対して短期的な成果は求めない。長い目で見た“Give and Take”の関係が成り立っていればよい。即座のアウトプットが困難であっても、いずれ何らかの形で“Give”を考えている人なら“会員”となることができる。

2010年度の会員は現時点で約150名。全国各地にいる会員は、小・中・高・大の学校関係者、Jクラブ・地域クラブの関係者、フットサルや草サッカーの関係者、新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどのメディア関係者、サポーターやボランティア、サッカー以外の競技の関係者など多様です。国や地方自治体のスポーツ行政に携わる者や、JFA、各都道府県FA関係者もいます。様々な形でサッカー・スポーツにかかわりながら、“志”を実現させようと活動する者で構成されるのが「サロン2002」です。

「サロン2002」の主たる活動は、月例会の開催と、その内容を核とするホームページの運営です。本シンポジウムは公開型月例会として毎年行われ、人と情報の行き交う場として定着しています。詳細は、ホームページ <<http://www.salon2002.net>> をご覧ください。

＜サロン 2002 公開シンポジウム＞

2001 年度…FIFA コンフェデレーションズカップ総括
2002 年度…FIFA ワールドカップ総括
2003 年度…地域で育てるこれからのスポーツ環境
2004 年度…totoを活かそう！
2005 年度…クラマーさん、ありがとう！
2006 年度…2006 年 ドイツで感じたこと
2007 年度…サッカー観戦を楽しもう！－スタジアム編
2008 年度…地域からみたJリーグ百年構想
2009年度…2019年ラグビーワールドカップを語ろう！

＜本シンポジウムの位置づけと報告書＞

本年度の公開シンポジウムの準備段階において、同様の趣旨のセミナーを企画していた全日本大学サッカー連盟とサロン2002の方針が合致し、デンソーカップ実行委員会とも共催で、本シンポジウムを実施する運びとなり、特別協賛のデンソー株式会社名を冠するシンポジウムとなりました。

本シンポジウムの内容は、後日、報告書にまとめ、サロン2002のホームページ上で公開します。主催者に無断で、個人のホームページ、ブログ等に掲載されぬよう、よろしくお願いいたします。